

硫黄鳥島の火山活動解説資料（平成 21 年 1 月）

気 象 庁 地 震 火 山 部
火山監視・情報センター
沖縄気象台地震火山課

火山活動に特段の変化はなく、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は見られません。
平成 19 年 12 月 1 日に噴火予報（平常）を発表しました。その後、予報警報事項に変更はありません。

○ 活動概況（図 1、図 2）

27 日に行った海上からの観測では、島の北側に位置する硫黄岳火口からの少量の噴気が連続的に確認されたほか、島の中央部に位置するグスク火山火口からもごく少量の噴気が時々確認されました。前回の観測時（2008 年 10 月 3 日）と比べて噴気の量はやや多い状態でしたが、状況に特段の変化はありませんでした。



図 1 硫黄鳥島の南西側から見た硫黄岳
（1月 27 日撮影）



図 2 硫黄鳥島の東側から見たグスク火山
（1月 27 日撮影）



図 3 硫黄鳥島 火口の位置図

この火山活動解説資料は気象庁ホームページ（<http://www.seisvol.kishou.go.jp/tokyo/volcano.html>）でも閲覧することができます。

本資料中の地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『25000 分の 1 地形図』を複製したものです（承認番号：平 20 総複、第 647 号）。